令和６年度事業報告

１　概 況

少子高齢化が急速に進むわが国では、デジタル化の進展や働き方の見直しなど社会変化のスピードが速くなっています。人生 100 年時代を見据え、文京区シルバー人材センターは、区内の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、生きがいを得る場として重要な役割を担っているほか、アフターコロナの新しい時代に即した事業展開が求められています。さらに、令和６年 11 月 1 日からはフリーランス法の施行によりシルバー人材センターの運営は大きく変化しています。

当センターでは、令和５年度に「文京区シルバー人材センター中長期計画」を策定し、①会員の確保、②新たな就業機会の確保、③安全を意識した就業と質の高い就業の提供の三項目を基本目標として、その目標達成に向けて事業を推進してまいりました。

就業開拓の分野では、文京区から受注している既存事業を拡充したほか、民間企業からも新たな派遣事業を受注してまいりました。

また、会員拡大に向けては、ホームページをリニューアルしたほか、SNS 等による活動の PR を行いました。さらに金融機関等への広告掲出など様々な手法により広報活動を展開してまいりました。

安全就業の確保のために安全管理委員会の機能を強化し、安全巡回の拡充や体力測定の実施など、事故の防止に向けて様々な対策を講じてまいりました。こうした取組が実を結び、請負事業の契約金額は約４億 7,900 万円、前年度比較ではプラス約 1,700 万円で 3.6％の増、シルバー派遣事業の実績を加えますと、契約金額は約 5 億 5,700 万円となり、前年度に引き続き過去最高を更新しております。

また、全国的には、シルバー人材センターの会員数の減少が大きな課題となっておりますが、当センターでは喜ばしいことに、会員数の増加傾向が継続しております。会員数は 1,462 人で、対前年度比 72 人増加し、会員の就業について、一人が年間に一回以上就業した就業実人員数は 1,140 人で、就業率は 78％となりました。今後も引き続きこの傾向を堅持するとともに、会員の希望に添えるような就業先の開拓に取り組んでまいります。

2　目標別取組状況

（1） さらなる会員の確保

センターが持続的に事業展開を図るうえで、会員の維持及び確保は最重要課題となります。近年、会員数は増加傾向が続いていますが、例年、上半期に入会者が多く、徐々に減少していく傾向です。そのため、前年度同様 10 月以降に入会キャンペーンを実施して入会者の確保を図りました。

①　広報媒体の見直し

ホームページの大幅リニューアルを行い、より利用しやすい環境を整備するとともに、手続きの簡略化に向けて令和６年４月より web による入会手続きの運用を開始しました。また、従来の広報媒体に加え、都営地下鉄春日駅への通年広告看板の設置、区内郵便局への広告掲載、コミュニティバス B－ぐるへの車内デジタル広告を継続実施しました。

② 継続的な広報活動の充実

区報ぶんきょうへの活動記事の掲載や会員募集チラシの区内全世帯へのポスティングを展開し会員の拡充に努めました。さらに、令和６年度、新たに文京区内在住の 60 歳以上の方にのみ表示される LINE 広告を活用することで、例年と比べ、実施月に入会者数が増加するなど一定の効果が認められました。

また、新規入会キャンペーン、会員募集案内パンフレットを地域活動センターなどに配架等様々な広報活動を展開することにより周知に努め、シルバー人材センターの理念に賛同して、働く意欲を持った高齢者の加入促進を図りました。

③ その他

退会会員を減少させる取組としては、就業相談会を拡充し、就業に向けた具体性のある就業紹介を行い、会員が希望する職種への斡旋を行いました。また、事務局内において全職員が参加する人材会議を開催し、新規入会会員が未就業者にならないよう、きめ細かな対応を行いました。また、会員向けの染物講座を実施するなど、会員満足度の向上にも努めました。

（2） 就業機会の拡充と就業の質の向上

就業機会の拡充と会員の確保は、一体的に取り組んでいく必要があります。

これまで会員の努力により、当センターは地域や発注者からの信頼を積み重ね、着実に事業規模を拡大してきました。

また、政策目的随意契約の拡充のため、文京区長に対して、会長、副会長、常務理事による当センターの活動への支援要請を行いました。

① 行政向け事業の拡充

文京区に対しては、各部署に向けて派遣事業も含めた営業活動を実施するとともに、政策目的随意契約の働きかけを行いました。こうした取組により、区立保育園業務の受注、公共施設の窓口案内業務(定期予防接種案内・総合窓口案内)や区報配付業務の受注も拡大しております。

② 民間事業者の新規開拓

企業ニーズの把握に努め、地域への貢献や会員の皆さんが望む仕事の開拓を図りました。そのため関係機関と連携した開拓や、文京区の特性である教育機関への働きかけも行ってまいりました。また、令和６年度においては、シルバーパス更新に関する業務を積極的に受注し、例年より大幅に伸長することができました。さらに、身近な区民サービスとして、独自事業である包丁研ぎ事業を本年度も継続して実施しました。

③ 就業の質の確保と向上

シルバー人材センターが地域や発注者からの信頼を高めていくためには、受注した仕事を適切に遂行していくことが重要です。そのために様々な研修会を実施して会員のスキルアップを図ってまいりました。また、６年度も派遣会員を中心に接遇研修を実施するなど、就業の質の向上を図りました。

（３） 安全を意識した就業

「安全・安心なシルバー事業」の確立を図ることは、シルバー事業遂行の根幹をなすものです。そこで、「安全はすべてに優先する」をスローガンに、組織を挙げて安全対策のより一層の推進を図り、重篤事故、傷害事故の撲滅及び健康の確保を図ってまいりました。

① 組織的な安全管理の強化

当センターでは、安全管理委員会を中心に安全対策を進めています。その中で、昨年同様、夏季に実施していた安全巡回を冬季にも行ったほか、危機管理マニュアルの作成、一人 KY(自問自答)カードの配付等を行

いました。さらに、昨年同様、記録的猛暑を踏まえ、空調服の希望者に対して、購入補助を実施しました。

② 会員向け研修の強化

会員一人一人の安全への意識を高めるために、会報「公益シルバーぶんきょう」に啓発記事を掲載しました。また、安全管理委員会のみではなく、班長会、仕事別グループ会議等あらゆる機会をとらえて事故防止の啓発を実施してまいりました。さらに、会員が自らの体力を把握することで、健康維持やフレイルへの意識づけを図るため、昨年度に引き続き体力測定を実施しました。

（4） 運営基盤の強化

組織運営において、法令遵守等による業務体制の管理は欠かすことができません。適切な運営を継続していくため、理事会をはじめとした各種委員会が円滑に機能していることが重要です。また、シルバー人材センターに関係する新たな法令等に対応できるよう、安定した事務局運営を心がけました。

① 各委員会の継続実施及び改善

理事会については、事務局報告の確認等にとどまることなく活発な意見交換が行われるよう、風通しのいい会議運営に努めました。また女性委員会においては、活発な意見交換に加え、染物講座の実施、メイクアップセミナーの開催、保育園での絵本修理ボランティアを実施しました。

② その他

財政の安定化に向け、公認会計士の指導助言を受けています。また、昨年 11 月から施行されているフリーランス法への適正な対応に努めてまいりました。さらに、運営基盤の強化に向け職員の積極的な研修参加を促してまいりました。